

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 99 2012.10.14 連絡先 402-1622 >

## 9月議会が終わりました...その2

共産党が反対したもう一つの議案は、教育委員を任命するものでした。

これまで和歌山市では、教育長は教職員の経験をもつ方が務めてきましたが、今回初めて行政職の方が提案されました。共産党市議団を代表して姫田議員が市長に対し、以下の4点について質疑を行いました。

教育委員の提案についての基本的な考えはどのようなものか。前回と今回で考え方に変わりはあるのか。

今回初めて行政職の方が提案されたが、何か特別な考えがあるのか。

教育委員の任命について法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条）で、「委員は...、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命する」と規定されていることから、提案された方の教育、学術及び文化に関する識見とは、どういふ点をどのように評価しているのか。

教職員の経験のない方を任命するにあたり市長は、教育長や教育委員長に意見を求めたのか。

市長の答弁は、法律4条の条文をほぼ繰り返すようなものでした。また、これまでも今回も教育長や教育委員長に意見を求めていないとのことでした。

日本共産党市議団はこれまで、教育委員長と教育長の候補となる方には事前に教育に関する基本的な考えを聞き、任命の賛否を決めてきました。今回は提案そのものが直前で、そうした考えを聞くことができず、質疑をしました。答弁は納得できるものではなく、提案には反対しました。

### みち子のひとりごと 竹燈夜

ん出ており、ふと  
周りをみると、家  
族連れや友人同士、  
カップルがほとん  
どでした。でも、  
一人で静かに見る  
もよし、仲間とに  
ぎやかに見るもよ  
し、ですね。



6日、7日と「竹燈夜」という催しが行われました。  
7日夜、立ち寄ってみました。西の丸から、道の両側に置かれた竹筒の中の炎に導かれるようにお城のなかに入ると、「きいちゃん」や「よしむねくん」、ハートや星のマークなどが、ろうそくで描かれていました。ゆらゆらと揺れる炎に癒されながら歩きまわりました。  
風があり、消えてしまつたろうそくに、係の人が火をつけ直しても、また消えて、ベストな状態を保つためのご苦労が...。お花見の時ほどではありませんが、人はたくさん

森下さちこ議員の一般質問

## 給食を安全に

森下議員は10月から実施される中学校給食について「最低条件として守られるべきは安全性」と強調し、小学校給食の業者選定で「過去3年間に食中毒を起こしたことがない」という項目があるのに、中学校給食にはないことを追及しました。

教育長は、中学校給食に決定した2業者のうち1業者が昨年末に食中毒により7日間の営業停止を受けたことを明らかにしましたが「さまざまな審査で安全性が確保できた。予定通り10月から実施する。」と答弁しました。

森下議員は、支給額が国基準を満たさず、中核市のなかでも低水準にある和歌山市の就学援助について、国基準を満たすとともに、支給内容に追加されたクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の3項目の早期実現を求めました。

教育長は「早急な実施は困難」、市長は「財政状況を見極めつつ、改善すべきは改善することを検討したい」としまし

くにしげ秀明です

よろしく

おねがいします



7日、市内であった「原発さよなら」のパレードに参加しました。150人が集いました。和歌山市でのこのパレードは

前回(7月)より多いように感じました。それぞれの手には、プラカードやのぼりなどにぎられていました。お

2回目でした。子ども連れの若い人たちが、

もしろかったのは、「関電は原発から、かんでんに(完全に)撤退しよう!」参加者は「再稼働反対」「子どもを守れ」「大人が守れ」「大飯を止めろ」などのコールを繰り返しました。

## 日本の巨大メディアを考える ② 志位和夫

ところが、日本では、朝日新聞にしても、読売新聞にしても、毎日新聞にしても、戦前以来の名前すら変えないで、恥ずかしげもなく、戦後スタートしたわけです。侵略戦争に協力した政友会、政友会、民政党、社会大衆党なども、まともな反省はなかったけれども、過去の名前は恥ずかしくてそのまま使えず、名前を変えて再出発せざるをえませんでした。ところが、大手新聞は名前すら変えていないのです。そういう問題点が戦後の出発点でありました。

そういう出発点ともかかわって、日本の大手メディアが、決定的な場面で、国民の利益に背く行動をとってきたことを、指摘しないわけにはいきません。たとえば、1960年、安保改定阻止闘争が大きく高揚した時期に、一部の暴力集団が挑発的行動を起こしたことをとらえ、6月17日、大手新聞が連名で、「7社共同宣言」

「暴力を廃止議会主義を守れ」を発表し、与野党をこえて「事態收拾をはかれ」という。これを機に、それまで安保反対闘争の熱気を伝えていた大手新聞は、いつせいに水か引くように尻すぼみとなり、国民的運動の発展に冷水をあびせる役割を果たしました。